

## 創業50周年を迎えて 復建グループの将来を思う



吉川謙造

株復建技術コンサルタント

中国の諺に「亢龍の悔い」という言葉があります。これは雲の上まで天高く昇り詰めてしまった龍が、あとは下へ落ちるしかない事を悔い・嘆いている状態を言うのだそうです。

私は復建技術コンサルタントの社長になって一年目に、会社創立50周年という大きな記念の年を迎える幸運に恵まれました。ここ数年の間に当社は新社屋の建築、技術管理部の発足による成果品のチェック・レビューの実施体制の整備等、それなりの成果を上げることが出来たのではないかと思います。

しかしながら、単に歴史が古いだけ、また規模がすこしづかち大きいというだけで、

それらが尊いわけではありません。歴史は浅くとも、売上高、従業員数、技術士の数等あらゆる面で、当社をはるかに上回る優秀な会社がいくらでもあります。当社はこれからも常に上を目指して、発展途上にある会社であり続けなければならないと思っています。

企業の寿命は一般には30年といわれますが、会社はこの50年の間に、幾多の危機や転身を経験してきました。

この間の歴史を振りかえると、創業当時の測量業務から始まって、昭和30年代には地質調査、さらに土木設計へと少しづつ業務を展開・拡大し、この間に社団法人から株式会社へと生まれ代わるなど、今は総合コンサルタントとして一応の形を成していますが、常に摸索と決断の繰り返しがあったと思います。私の在籍はこの数年の半分にも満たない期間のみで、真に50年の祝福を受ける資格があるのは、戦後の混乱と荒廃の極みにあって、毎日の食事にも事欠く情況の中で、頑張りぬいて下さった多くの人々であることを忘れてはならないと思います。この感謝を忘れることなく、さらなる50年100年先に向かって社業の維持

・発展に努力しなければならないと考えて  
おります。

同じ「復建」という名を冠したグループ会社が全国に6社あります。それぞれの地域で一応の地位を築くまでには至っており、もしこれが1社にまとまればそれなりのスケールメリットも考えられるわけで、そのように提案してくれる人も少なくありません。事実、6社を数字上で合計すれば、従業員2,500名、売上高500億円、技術士350名という規模になるでしょう。しかし、今首都圏への1極集中が問題にされている時、それぞれの地域で独自の経営路線を守る復建グループ各社のような経営も、地域分散のひとつのあり方とは認められるのではないか。

小さくてもキラリと光る、発展途上の企業を目指し続けて行きたいと念じております。会員の皆様、今後ともよろしくご指導の程お願い致します。

## 経歴

吉川 謙造（よしかわ けんぞう）

昭和17年12月25日生（53才）

出身地：東京

現住所：仙台市太白区山田自由ヶ丘35-2

昭和36年3月	東京都立立川高校卒業
昭和40年3月	北海道大学工学部卒業
同年4月 ～47年3月	ラサ工業勤務
昭和47年4月	株復建技術コンサルタント入社
～平成3年3月	調査部勤務（19年間）
平成3年4月～	企画部勤務（2年間）
平成5年4月～	設計部勤務（2年間）
平成7年5月25日	代表取締役社長就任

資格：測量士

技術士（応用理学・建設）

(社)建設コンサルタント協会

理事・東北支部長

(社)日本技術士会東北支部 副支部長

東北測量設計協会 理事・技術委員長

宮城県環境アセスメント協会幹事

趣味：蝶の採集、鉱物採集、読書、囲碁、  
麻雀、朝起き（？）、その他

家族：父（93才）、妻、  
子供4人（2男、2女）

